

## 【事業実績】

### a. ①「プログラミング教室」

#### ●出張講座

連携：千葉市立稲浜小学校、千葉市立検見川小学校、千葉市立山王小学校、千葉市立都小学校、  
千葉市立平山小学校、千葉市立大森小学校

実施期間：2019年9月～2020年2月

回数／人数：児童対象スクラッチ講座8回344人、教職員対象スクラッチ講座5回132人

#### ●館内講座

連携：千葉市生涯学習センター大学生サポーター

実施期間：2019年5月～2020年2月

回数／人数：千葉市生涯学習センターmicro:bit講座9回320人、千葉市科学館スクラッチおよび  
mBot講座42回474人

《参加者アンケート結果》 回収277枚のうち「満足」「まあまあ満足」回答275枚（満足度99.3%）

#### 参加者からの声（アンケートより抜粋）

- ▶ コンピューターとかは自分たちが活用することでより良いものができるとわかりました！（小学4年生）
- ▶ 科学が発達しているな～とったりしました。（小学4年生）
- ▶ おそらく私たちよりも子どもたちのほうが飲み込みも早いだろうなと感じました。学校教育の中でやっていく方法を見つけていきたいと思います。（小学校教職員）
- ▶ プログラミング教育に不安がありましたが、子どもたちと楽しみながらやっていけそうだと思います。（小学校教職員）
- ▶ プログラミング的思考を働かせることの意義と他教科で無理なく生かしていけばよいということ。（小学校教職員）
- ▶ プログラミングを恐れない。（小学校教職員）

#### <プログラミング教室の様子>



b. ①「東京湾と里山の座学」

講師：中島礼氏、久保純子氏、大越健嗣氏、清本正人氏、宮野伸也氏、須之部友基氏、  
平本紀久男氏、中村俊彦氏、風呂田利夫氏、望月修氏

実施日：2019年11月30日、12月1日、12月8日、12月15日、12月21日、2020年1月11日、  
1月18日、2月1日、2月8日、2月9日／計10回（講師体調不良で12/14は中止）

参加人数：合計232人

b. ②「野外観察教室」

連携：NPO法人バランス21、わたしの田舎 谷当工房、NPO法人たてやま・海辺の鑑定団

実施日：2020年2月9日、2月24日、3月1日／計3回

参加人数：合計54人

b. ③「子供モバイル顕微鏡教室」

連携：適応指導教室ライトポート緑、東海大学付属浦安高等学校中等部、他

実施期間：2019年8月～2020年3月／計32回（うち、台風の影響3回・コロナウイルス感染影響4回  
が中止）

参加人数：合計1,369人

b. ④「小生物データベース作成のための基礎調査と手法構築」

連携：千葉市新宿中学校、千葉大学教育学部附属中学校、千葉市立打瀬中学校、千葉市立本町  
小学校、千葉市立千城台西小学校

実施日：2019年5月23日、5月28日、6月1日、6月5日、6月6日、2020年2月5日／計6回

参加人数：合計176人

b. ⑤「加曽利貝塚博物館との連携による教室開催と成果発表」

連携：千葉市動物公園、加曽利貝塚博物館

実施日：2019年10月26日、12月1日／計2回

参加人数：合計116人

《参加者アンケート結果》 回収366枚のうち「満足」「まあまあ満足」回答310枚（満足度84.7%）

参加者からの声（アンケートより抜粋）

- ▶ 生物多様性、貝塚研究からの里海ぐらし、水族館のとりくみ、今までに別々にとらえていたものが、つながったような気がしてとても勉強になりました。（主婦）
- ▶ プランクトンを見るだけでなく、プリントアウトしてもらったり、関係の図書があつたりして、さらに興味が広がり深まりよかったです。（保育園児同伴の会社員）
- ▶ たくさんのいきものがいることがわかりました。（小学2年生）
- ▶ 身の回りの自然も、知識をもってみれば、こんなにも奥深いのだと感動しました。子供達にも見る目をもって見れば、世界は興味深いことだらけだということが伝わったのではないかと思う。（小学3年生と5年生同伴の主婦）
- ▶ 図鑑で見ると実際に見るのとでは全く違った。（会社員）

<東京湾と里山の座学の様子>



<野外観察教室の様子>



<子供モバイル顕微鏡教室の様子>



<学校プールでの観察会の様子>



<加曽利貝塚博物館 海の生きもの観察・活動発表会の様子>





c. ①「スクラッチプログラミング祭り」 ※開催中止

連携：千葉市生涯学習センター大学生サポーター、千葉市立花園中学校科学部員、はまぎんこども宇宙科学館

計画：2020年3月21日、3月22日予定

理由：新型コロナウイルス感染拡大防止のため

<主な制作物>

